

(1) 施設整備に向けた調査

① 建設予定地の地質の状況 <詳しい内容は資料1の3～10ページをご覧ください>

○「電気探査（空洞の探査）」と「ボーリング調査」等から得られたデータや結果を解析し、地下の空洞の有無について確認を行いました。なお、その解析結果は、学識経験者（地盤、岩盤）にデータ等をお示しして、ご意見を頂きながら確認しました。

確認できたこと

- 電気探査により地下100m程度までの地盤の状態を確認した結果、**5mを超える大きさの空洞は確認されませんでした。**
- ボーリング調査とあわせて実施した試験により、建設予定地の地盤は、**建物を整備することが可能な支持力を有していることが確認**できました。
- ボーリング調査の結果や掘削した孔内を小型カメラにより撮影した画像を確認したところ、**空洞は確認されませんでした。**

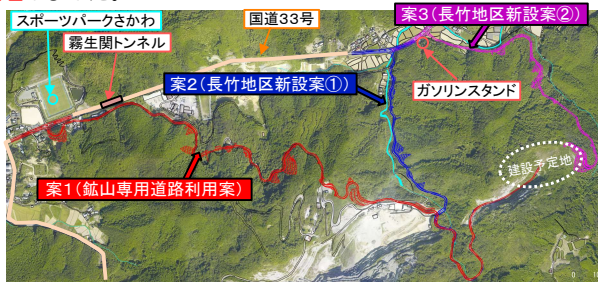
- これらの調査によって、**建設予定地周辺の地下は、施設の整備が可能な状態であると判断**しています。
- **現地です工事を進めていく際には、節目節目で状況をお知らせ**します。

(2) 周辺安全対策

① 進入道路の最終絞り込み（案） <詳しい内容は資料1の13～20ページをご覧ください>

○『住民の皆様様の生活も含めた周辺環境に及ぼす影響』を最優先に考え、6ルートからの絞り込みを行った3ルートについて、**下記の①～③について整理**しました。

- ① 各ルート沿いの地形・地質の状況を現地調査により確認
- ② ①を踏まえて、各ルート沿いの土砂災害等の危険性のある箇所等について改めて整理し、各ルートの位置、工法等について精査
- ③ 各ルートについて、国道との交差点部の概略の交差点計画を作成し、関係機関と協議したうえで、それぞれの交差点計画の課題点等について整理



- 6ルートからの絞り込みの段階で整理した項目について再度検討するとともに、新たに整理した上記の項目について比較検討し、最終的に1ルートへ絞り込むこととしました。
- 絞り込みにあたっては、これまでと同様に『住民の皆様様の生活も含めた周辺環境に及ぼす影響』という観点を重視しました。

検討結果

- ルート案1、2は、交差点設置や道路整備に伴い、田畑・山林に加え、沿道の宅地の取得や墓地の移転が必要です。
- ルート案1、2は、交差点設置にあたり、交通安全対策として、**国道の路面を高くすると沿道の敷地や建物への出入りに支障が生じる可能性があります。**
⇒ これらのことから、ルート案3が他の2案と比べて、住民の皆様様の生活も含めた周辺環境への影響が小さいと考えられます。

- **住民の皆様様の生活も含めた周辺環境への影響を考え、「ルート案3【長竹地区新設案②】に絞り込み**させていただきたいと考えています。

② 上水道整備の支援範囲（案） <詳しい内容は資料1の21～33ページをご覧ください>

- 「加茂地区内の井戸の設置状況、利用状況」や「設置されている井戸水の水質」、「地区内を流れる河川水の水質」について、調査しました。
- 得られた調査結果について、下記の点を踏まえて検討をしました。この検討に際しては、学識経験者（水環境、地下水）にデータ等をお示しして、ご意見を頂きながら実施しました。

- ① 加茂地区の集落の立地状況 ② 井戸の設置・利用状況 ③ 河川水と井戸水の水質の比較

検討結果

- **建設予定地周辺から流れてくる水は、長竹川に流れ込み、支川の合流に伴い、石灰岩の影響は弱まりますが、長竹川の流域に影響を及ぼしているものと考えられます。**
- 日下川及び支川（長竹川を除く）の水質は、建設予定地周辺から流れてくる水（石灰岩）の影響を受けているとは考え難いと判断しています。
- 長竹地区の井戸の中には、**建設予定地周辺から流れてくる水（石灰岩）の影響を受けていると考えられる井戸があります。**
- 本村西・本村東・弘岡地区において石灰岩の影響を受けていると考えられる井戸は、立地状況及び河川の水質の状況から、**建設予定地周辺から流れてくる水の影響ではなく、局所的な地質の影響を受けているもの**と判断しています。
- 長竹川流域の水質や、周辺の井戸の立地状況などを考慮すると、**今回、建設予定地周辺から流れてくる水の影響が確認されなかった長竹・竹ノ倉・横山地区の井戸についても、地下水の水位の変動などにより、影響を受ける可能性もあり得ると考えられます。**

- **長竹・竹ノ倉・横山の3地区において上水道を使用していない世帯及び事業所を上水道整備の支援対象とするように考えています。**

③ 上水道整備の支援方法（案） <詳しい内容は資料1の34ページをご覧ください>

- 上水道の整備の支援は、**①配水管の整備（延伸工事）に係る佐川町への補助と②給水装置の整備に係る利用者への補助の2本立て**とします。
- 原則、公道部分については、①により佐川町に配水管の延伸工事をお願いします。
- 給水装置の整備のうち、**②の補助対象は、配水管の分岐からメーターまでの区間の工事費用**とします。
- **メーターの出口から宅内への引き込み工事費用や水道加入金、各種手数料については、利用者にご負担**いただきます。

④ 長竹川の測量、概略計画の策定 <詳しい内容は資料1の36～41ページをご覧ください>

- **現在の長竹川がどの程度の洪水を流すことができるのか（流下能力）を確認**しました。
- 長竹川の日下川合流点より下流の流下能力とのバランスも考慮し、河川整備を計画する際に**目標とする流量を提案**します。

整備をするうえで目標とする流量

提案 令和元年10月の洪水を一定の余裕を持って、安全に流すことのできる流量

- 長竹川で過去に浸水被害が発生した**主な洪水9回のうち、7回の洪水を流すことのできる規模**となります。

(3) その他

- 上記内容の他に、資料1では、「埋立廃棄物量(P11)」や「長竹川の河床に溜まった土砂の浚渫(P42、43)」、「新たな施設の整備・運営主体(P44)」などについてお示ししています。